

輸送動向について（3月分）

平成28年4月

1. 輸送概況

今月は、上旬における北日本地区低気圧接近等の影響により、高速貨42本が運休となった（前年は、高速貨57本が運休）。

コンテナ貨物は、鉄道へのシフトが進んでいる積合せ貨物、食料工業品が年度末需要も取り込み、増送となったほか、農産品・青果物が北海道地区の玉葱の生育良好により前年を上回った。

一方、景気低迷による売れ行き不振により、紙・パルプ及び化学薬品等が前年を下回り、コンテナ貨物全体では、前年比102.6%となった。

車扱貨物は、石油が市場価格下落により需要増となったほか、セメントも旺盛な出荷となり、車扱全体では、前年比108.0%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比104.0%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	2,089	2,037	102.6%	22,116	21,542	102.7%
車 扱	816	755	108.0%	8,661	8,770	98.8%
合 計	2,905	2,792	104.0%	30,778	30,312	101.5%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	190	175	15	108.3%
	化学工業品	191	186	5	102.8%
	化学薬品	131	135	-4	97.2%
	食料工業品	325	302	23	107.4%
	紙・パルプ	287	307	-20	93.4%
	他工業品	141	138	3	102.4%
	積合せ貨物	254	229	25	110.8%
	自動車部品	68	65	3	105.2%
	家電・情報機器	40	40	0	100.5%
	エコ関連物資	41	34	7	120.7%
	その他	422	426	-4	99.0%
	コンテナ計	2,089	2,037	52	102.6%
車 扱	石油	549	505	44	108.9%
	セメント・石灰石	127	126	1	101.3%
	車 両	86	76	10	113.2%
	その他	53	49	4	108.1%
	車 扱 計	816	755	61	108.0%
合 計		2,905	2,792	113	104.0%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)